



「生徒も教員も日々成長」が具現した1学期

着任して4か月。私(校長)は吉川高校が大好きです。生徒や若い先生方が、毎日笑って、泣いて、喜んで、怒って、悩んで…。終業式では、あえて「順調に“問題だらけ”という表現を用いました。皮肉やいやみではありません。問題があるからこそ、自分を見つめ直し、他者とのかわり方を見直し、学級や学年、学校全体の在り方を考え直す。課題があるからこそ、解決への取り組みを通して個人も学校全体もよくなっていく。生徒も先生も、ともに日々の成長を実感できる吉川高校。教育の場にふさわしい学校だと確信した1学期でした。



「考えることが楽しかった」～第1回オープン・ハイスクール～



7月28日(木)、中学生54名、保護者18名の参加を得て、第1回オープン・ハイスクールを実施しました。

運営に当たっては、生徒の活躍ぶりをわかりやすく伝える学校紹介のライドショー作成・上映とナレーション、中学生の誘導、体験授業の補佐、部屋毎に行った終了式での質疑応答やあいさつ等、生徒会執行部の生徒が大いに活躍しました。以上「**吉川高校生の成長物語**」第13回です。

体験授業は、国語・地理歴史・数学・理科・体育・英語・家庭・商業の8講座でした。中学生は「同じ講座の人たちとしっかり考えることができた。考えることが多くて楽しかった。」「楽しくてすぐに時間が過ぎていた。」「中学校の復習をしたり、スライドを使ったりしてわかりやすく、一人一人のペースに合わせてくれているなと感じた。」「普段考えないことを考えて、自分たちにできることはないかと考えられたので、楽しく学



ぶことができた。」「班の他校のメンバーと仲良くできて、人見知りの私にとって、とてもいい経験だった。」等の感想を寄せてくれました。

個に応じた細やかな学習指導等、小規模でも多様な生徒が在籍している本校だからこそ日頃大切にしていることが、中学生にしっかりと伝わりました。

本校紹介の補足として、月刊「兵庫教育」2022年4月号の記事を転載します。

末筆ながら、酷暑中、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

「生きる力」の育成

よかわ
- 県立吉川高等学校 -

～今の時代を逞しく生き抜く生徒の育成をめざして～

本校は、加古川水系の支流美^{みのう}囊川の上流、酒米山田錦の産地として全国的に名を馳せる緑豊かな田園地域に位置する全日制普通科の高等学校です。「師弟同行」の校風のもと、主体性、協調性、創造性を育む教育活動の実践に努めています。本校の家庭科では、第1学年での学びを発展させ、生活の中で生きる力を育む「生活実践」という科目を第2学年で設定しています。古布を使用したりメイク、生徒が栽培し、収穫した野菜を使用した調理実習、身近な物を使用したおもちゃ作りなど、SDGsとも関連させながら授業を実施しています。最初は受け身で授業に参加していた生徒たちでしたが、「もっとこうしたらいいかも!」「次はこんなことがしたい!」などの発言が出るようになり、周りの生徒と協力しながら、積極的に授業に参加する姿が見られるようになりました。

このような取組を通して、故郷吉川の自然を守りながら地域に貢献し、これからの時代を逞しく生き抜く生徒の育成に力を入れていきます。



兵庫県立

吉川高等学校

Yokawa High School

〒673-1129 三木市吉川町渡瀬300-12

Tel 0794-73-0068 Fax 0794-73-0167

